

180

サ

#



西國三十三番札所御入道の御入道

とちもく 御入道いれけりんとて ありあつたものと
人置六十八代のもろと 死さへおんらるゝあはれ
させあひなりとて 入道御入道とすまはれ
うまのらんらんじびさうの ころけをて 實を奉り
三月十七日ありあらしとて とうわらう 御入道御入道
みの あはれがらうとて ありあらしとて ありあらし
おと ありあらしとて ありあらしとて ありあらし
ありあらしとて ありあらしとて ありあらし

徳野修規の御入道
且つあはれ 三十三番とて 御入道ありあらしとて ありあらし
ありあらしとて ありあらしとて ありあらし



あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの



天の
宮の
御
座

あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座



天の
宮の
御
座

あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座



天の
宮の
御
座

あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座



天の
宮の
御
座

あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座

あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座
あまの宮の御座



くろく
くろく
くろく
くろく

高野山真言宗

高野山
真言宗
くろく
くろく

高野の山多分念ふころは
かたはれまよしとていふこと



くろく
くろく
くろく
くろく

十萬遍念ふこと

くろく
くろく
くろく
くろく

ふもろくろく月とまじりて
うらたのくろくせいりて



くろく
くろく
くろく
くろく

十萬遍念ふこと

くろく
くろく
くろく
くろく

ふもろくろく月とまじりて
うらたのくろくせいりて



くろく
くろく
くろく
くろく

十萬遍念ふこと

くろく
くろく
くろく
くろく

ふもろくろく月とまじりて
うらたのくろくせいりて



天照大神
天照大神
天照大神
天照大神

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ

のらぬとて
かきつけし
らひひらひら
らひひらひら



天照大神
天照大神
天照大神
天照大神

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ



天照大神
天照大神
天照大神
天照大神

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ



天照大神
天照大神
天照大神
天照大神

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ

あつこ
あつこ
あつこ
あつこ



Handwritten text in the top left margin of the first page, including characters like '文' and '字'.

Main body of handwritten text in the top section of the first page, written in a cursive style.

Small handwritten text in the top right margin of the first page.

Two lines of handwritten text in the middle section of the first page, continuing the cursive script.



Handwritten text in the middle left margin of the first page.

Main body of handwritten text in the middle section of the first page.

Small handwritten text in the middle right margin of the first page.

Two lines of handwritten text in the bottom section of the first page.



Handwritten text in the top left margin of the second page.

Main body of handwritten text in the top section of the second page.

Small handwritten text in the top right margin of the second page.

Two lines of handwritten text in the middle section of the second page.



Handwritten text in the middle left margin of the second page.

Main body of handwritten text in the middle section of the second page.

Small handwritten text in the middle right margin of the second page.

Two lines of handwritten text in the bottom section of the second page.



長三尺

世高丹丸あまらるる

葉六
丸丸
六リ
丸丸

世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる



長三尺

世高丹丸あまらるる

葉六
丸丸
六リ
丸丸

世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる



長三尺

世高丹丸あまらるる

葉六
丸丸
六リ
丸丸

世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる



長三尺

世高丹丸あまらるる

葉六
丸丸
六リ
丸丸

世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる
世高丹丸あまらるる



不動明王
すく

たききりてあまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを
あまのこころを



不動明王
すく

たききりてあまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを
あまのこころを



不動明王
すく

たききりてあまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを
あまのこころを



不動明王
すく

たききりてあまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを

あまのこころを
あまのこころを
あまのこころを

本号
しん
の
そく
の
せ
り
大

英尚谷経史

英
尚
谷
経
史

ら
ふ
し
ま
り
ま

まのくも鳥のふりりま。
まのくも鳥のふりりま。

本号
しん
の
そく
の
せ
り
大

世英の書

世
英
の
書

世
英
の
書

まのくも鳥のふりりま。
まのくも鳥のふりりま。

本号
しん
の
そく
の
せ
り
大

世英の書

世
英
の
書

世
英
の
書

まのくも鳥のふりりま。
まのくも鳥のふりりま。

本号
しん
の
そく
の
せ
り
大

世英の書

世
英
の
書

世
英
の
書



十万人
上人
の
き

世壽の
二
川平西宮のれおのり

川平西宮のれおのり
らうらうらうの
由ふれられて
りまうり

くわんじつわんじつわんじつわんじつわんじつ
からむらからむらからむらからむらからむら
のりからむらからむらからむらからむら

のりからむらからむらからむらからむら
のりからむらからむらからむらからむら
のりからむらからむらからむらからむら

この
本
七
十
二

坂東之松前寺念通法州

印自某陽京川二テ
各
ゆ
永
い
あ
大

永
い
あ
大
大



十六
八

菩薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩

摩訶薩

摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩



十六
八

菩薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩

摩訶薩

摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩



十六
八

菩薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩

摩訶薩

摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩



十六
八

菩薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩

摩訶薩

摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩
摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩摩訶薩



土の八
ういゆ
うまの
うまの

高きうまのうまのうまの

世にふ
うまの
うまの
うまの

うまのうまのうまのうまの
うまのうまのうまのうまの



土の八
ういゆ
うまの
うまの

高きうまのうまのうまの

世にふ
うまの
うまの
うまの

うまのうまのうまのうまの
うまのうまのうまのうまの



土の八
ういゆ
うまの
うまの

高きうまのうまのうまの

世にふ
うまの
うまの
うまの

うまのうまのうまのうまの
うまのうまのうまのうまの



土の八
ういゆ
うまの
うまの

高きうまのうまのうまの

世にふ
うまの
うまの
うまの

うまのうまのうまのうまの
うまのうまのうまのうまの



てんめ
のう
え

たはひのうき

てんめ
のう
え

らうひのうきとあふさういそこの



てんめ
のう
え

たはひのうき

てんめ
のう
え

のうきとあふさういそこの



てんめ
のう
え

たはひのうき

てんめ
のう
え

たはひのうきとあふさういそこの



てんめ
のう
え

たはひのうき

てんめ
のう
え

たはひのうきとあふさういそこの



三十三
三十三
三十三

十善を修む

世に
南に

三十三
三十三
三十三

善いなるを
修むるを
十善と云ふ



三十三
三十三
三十三

十善を修む

三十三
三十三
三十三

善いなるを
修むるを
十善と云ふ



三十三
三十三
三十三

十善を修む

三十三
三十三
三十三

善いなるを
修むるを
十善と云ふ



三十三
三十三
三十三

十善を修む

三十三
三十三
三十三

善いなるを
修むるを
十善と云ふ



十人
十一人
十二人

北極星の光を

十一人

あふんがらぬかきまゝのりて
かきけのむらりぶもゆく



十一人
十二人

北極星の光を

十一人

あふんがらぬかきまゝのりて
かきけのむらりぶもゆく



十一人
十二人

北極星の光を

十一人

あふんがらぬかきまゝのりて
かきけのむらりぶもゆく



十一人
十二人

北極星の光を

十一人

あふんがらぬかきまゝのりて
かきけのむらりぶもゆく



イ
イ
イ
イ

世尊の御心

三ツ

おんまがらうのりつとんまがらう
おんまがらうのりつとんまがらう



イ
イ
イ
イ

世尊の御心

イ
イ
イ
イ

おんまがらうのりつとんまがらう
おんまがらうのりつとんまがらう



イ
イ
イ
イ

世尊の御心

イ
イ
イ
イ

おんまがらうのりつとんまがらう
おんまがらうのりつとんまがらう



イ
イ
イ
イ

世尊の御心

イ
イ
イ
イ

おんまがらうのりつとんまがらう
おんまがらうのりつとんまがらう



土久
乃徳

花鳥園のまゝ

七
三
二
一
リ
ル
ル
ル

らむとてまのさかづきもあはれ
うらうらむもあはれ



乃徳
乃徳

花鳥園のまゝ

七
三
二
一
リ
ル
ル
ル

ちむとのかうしからん
あはれむらあはれむら



乃徳
乃徳

貝のまのあはれむら
あはれむらあはれむら



乃徳
乃徳

ひらきもあはれむら
あはれむらあはれむら

七
三
二
一
リ
ル
ル
ル



空の
三つ
八つ

一たん

別當
三つ
八つ

わづらひとまはるのりた
こころまはるのりた



空の
三つ
八つ

二たん

別當
三つ
八つ

わづらひとまはるのりた
こころまはるのりた



空の
三つ
八つ

三たん

別當
三つ
八つ

わづらひとまはるのりた
こころまはるのりた



空の
三つ
八つ

四たん

別當
三つ
八つ

わづらひとまはるのりた
こころまはるのりた



あまの
ふりか
ふりか
三日月
三日月

あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ



あまの
ふりか
ふりか
三日月
三日月

あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ



あまの
ふりか
ふりか
三日月
三日月

あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ



あまの
ふりか
ふりか
三日月
三日月

あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ

あまのむすぶ
あまのむすぶ
あまのむすぶ



坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入



坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入



坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入



坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入

坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入
坐入



十一人
不問作
坐又立
坐立
三有坐人

十七人なるべし

變拍
十一
二十

あまのこがめしむらりちかへし
うけりてあまのこがめしむらり



十一人
あまのこ
がめしむ
らりちか
へし
三有坐人

十七人なるべし

別張
三有坐人
かみ流
十
ひ伏拍
四有

あまのこがめしむらりちかへし
うけりてあまのこがめしむらり



十一人
あまのこ
がめしむ
らりちか
へし
三有坐人

十七人なるべし

四
別張
三有坐人
かみ流
十
ひ伏拍
四有

あまのこがめしむらりちかへし
うけりてあまのこがめしむらり



十一人
あまのこ
がめしむ
らりちか
へし
三有坐人

十七人なるべし

別張
三有坐人
かみ流
十
ひ伏拍
四有

あまのこがめしむらりちかへし
うけりてあまのこがめしむらり



受之
金剛
三尊
三尊

世をんまのそ

白
祥家
三尊

三尊
川あり

あまのこころをたかむ
やまのこころをたかむ



受之
金剛
三尊
三尊

世をんまのそ

白
祥家
三尊

三尊
川あり

あまのこころをたかむ
やまのこころをたかむ



受之
金剛
三尊
三尊

世をんまのそ

白
祥家
三尊

三尊
川あり

あまのこころをたかむ
やまのこころをたかむ



受之
金剛
三尊
三尊

世をんまのそ

白
祥家
三尊

三尊
川あり

あまのこころをたかむ
やまのこころをたかむ

程方多著くもの廻廻順礼一併板本は
 此板おひの如道維の里教兼寺院の文字
 解^つあ^つい^い未^く免^くお^お透^は足^はひ^ひ分^の細^い吟^ん味^ん位
 書^ま又^ま併^ま像^まの^ま長^ま堂^まの^ま同^ま形^まと^ま意^ま改^ま治^ま板^ま神^ま社^ま
 形^わの^わ文字^わの^わ賣^わの^わり^わの^わ又^わ西^わ必^わ改^わ板^わ神^わ社^わ
 本^まの^ま改^ま板^まは^ま出^まり^まの^ま未^ま改^ま板^ま見^ま不^ま希^まの^ま空^ま

本
 水間屋

江戸通油町

村田屋治郎齋衛板

上
外



才
四
六

十
七

八